

令和5年度中小企業DX支援事業（デジタル田園都市国家構想交付金対象事業）

申請者	神奈川県川崎市	初回採択回	令和5年度						
事業計画期間	令和5年度～7年度	令和5年度の事業費	52,061千円（交付金26,030千円）						
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ（横展開型）	事業分野（詳細）	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野						
目的（効果）	市内中小事業者のデジタル化を進めるとともに、デジタル人材の育成等による中長期的な事業者のデジタル化を継続させていくことで、全市的なデジタルトランスフォーメーションを創発させ、産業振興及び地方創生に繋げる。								
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R5年度事業費	①デジタル化基盤強化事業（補助金17,234千円） 多様な業種の市内中小事業者のデジタル化推進にあたり、デジタル技術や設備の導入、人材育成などを支援。 ②DXモデル創出事業（委託料16,450千円） デジタル化の基盤が一定構築された市内中小企業をDXモデルとして引き上げることで、DXの有効な事例を創出。 ③DXプラットフォーム構築・運営事業（委託料18,377千円） 支援機関・金融機関・業界団体等と連携し、市内中小事業者のデジタル化を推進する事業主体を構築・運営。	<table><tr><th>企業名</th><th>事業名・事業内容</th></tr><tr><td>株式会社青山 プラスチック塗装  (製造業)</td><td>●属人的製造現場ノウハウをDXで継承するナレッジ継承システムの事業化 製造現場の人材難、経験と知見を持つベテラン職人の高齢化が進み、次世代への事業継承が難しいという課題に対して、3D-CADと3Dプリンターによる製造システムと、蓄積した職人ノウハウをデジタル化して伝承できるシステムを導入することで解決を図りながら、実証を通じて得られた知見を新たなサービスとして同様の悩みを持つ製造業への展開に向けて取り組んでいる。</td></tr><tr><td>株式会社EsseN  (情報通信業)</td><td>●物流の2024年問題に向けたトラック等の広告掲載の価値確定 リアルタイムの位置情報をクラウドに送信できるデバイスを開発して事業用トラックや軽貨物配送車に搭載した上で、広告を掲載して走行させ、取得した位置情報や当社の持つ人流データなどを活用し、広告が閲覧された場所や回数を可視化することで広告効果をAIで測定。広告効果の測定を踏まえた費用対効果の高いトラック・軽貨物配送によるオフライン広告を実施することで、物流の2024年問題に直面する運送業界の収益性改善に貢献する新たなサービスの提供に向けて取り組んでいる。</td></tr></table> 【令和5年度中小企業DXモデル事業 採択企業一覧】		企業名	事業名・事業内容	株式会社青山 プラスチック塗装  (製造業)	●属人的製造現場ノウハウをDXで継承するナレッジ継承システムの事業化 製造現場の人材難、経験と知見を持つベテラン職人の高齢化が進み、次世代への事業継承が難しいという課題に対して、3D-CADと3Dプリンターによる製造システムと、蓄積した職人ノウハウをデジタル化して伝承できるシステムを導入することで解決を図りながら、実証を通じて得られた知見を新たなサービスとして同様の悩みを持つ製造業への展開に向けて取り組んでいる。	株式会社EsseN  (情報通信業)	●物流の2024年問題に向けたトラック等の広告掲載の価値確定 リアルタイムの位置情報をクラウドに送信できるデバイスを開発して事業用トラックや軽貨物配送車に搭載した上で、広告を掲載して走行させ、取得した位置情報や当社の持つ人流データなどを活用し、広告が閲覧された場所や回数を可視化することで広告効果をAIで測定。広告効果の測定を踏まえた費用対効果の高いトラック・軽貨物配送によるオフライン広告を実施することで、物流の2024年問題に直面する運送業界の収益性改善に貢献する新たなサービスの提供に向けて取り組んでいる。
企業名	事業名・事業内容								
株式会社青山 プラスチック塗装  (製造業)	●属人的製造現場ノウハウをDXで継承するナレッジ継承システムの事業化 製造現場の人材難、経験と知見を持つベテラン職人の高齢化が進み、次世代への事業継承が難しいという課題に対して、3D-CADと3Dプリンターによる製造システムと、蓄積した職人ノウハウをデジタル化して伝承できるシステムを導入することで解決を図りながら、実証を通じて得られた知見を新たなサービスとして同様の悩みを持つ製造業への展開に向けて取り組んでいる。								
株式会社EsseN  (情報通信業)	●物流の2024年問題に向けたトラック等の広告掲載の価値確定 リアルタイムの位置情報をクラウドに送信できるデバイスを開発して事業用トラックや軽貨物配送車に搭載した上で、広告を掲載して走行させ、取得した位置情報や当社の持つ人流データなどを活用し、広告が閲覧された場所や回数を可視化することで広告効果をAIで測定。広告効果の測定を踏まえた費用対効果の高いトラック・軽貨物配送によるオフライン広告を実施することで、物流の2024年問題に直面する運送業界の収益性改善に貢献する新たなサービスの提供に向けて取り組んでいる。								
KPI	①デジタル化に取り組んでいる市内事業者の割合 （令和5年度目標値+4.51%→実績+12.74%） ②デジタル基盤強化支援数 （令和5年度目標値38件→実績38件） ③DXモデルの創出数 （令和5年度目標値1件→実績2件）	関連URL	（川崎市：デジタル田園都市国家構想交付金・実施状況） https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000159184.html						

令和5年度副業・兼業人材活用によるイノベーション創出事業（デジタル田園都市国家構想交付金対象事業）

申請者	神奈川県川崎市	初回採択回	令和3年度
事業計画期間	令和3年度～5年度	令和5年度の事業費	66,450千円（交付金33,224千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ（横展開型）	事業分野（詳細）	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野
目的（効果）	・研究開発型スタートアップ企業の成長をより一層加速させるため、経営的視点を有する人材とのマッチングを図る。 ・大企業等に所属する経営人材候補の副業・兼業を促進し、経営人材リソースの有効活用及び流動性の向上を図る。 ・起業家支援拠点(K-NIC)の運営を通じて、副業・兼業人材の確保に繋がる賛同企業等の確保及びネットワークの構築を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R5年度事業費	① 起業家支援拠点運営に関する事業費 （委託費45,936千円、人件費7,727千円） ●経営人材ネットワークの強化 ・経営人材ネットワークの構築・強化に向け、起業家支援拠点(K-NIC)の運営・事業内容に賛同する大企業等との関係構築 ●経営人材の育成支援・助言・相談対応 ・大企業等に所属し、副業・兼業を希望する者への助言・相談に対応するとともに、副業・兼業に関する啓発や資質・スキルを高めるセミナー等、人材育成プログラムの実施 ●経営人材を受け入れるスタートアップ企業等の支援 ・経営人材とのマッチングを行うスタートアップ企業等に対し、経営課題の整理等に加え、経営人材獲得に必要な組織・労務・報酬体系等の整備に向けた支援の実施 ② スタートアップ成長支援事業委託費（委託費12,787千円） ・経営人材とのマッチングによる成長可能性がより高い、有望なスタートアップの発掘・成長支援を目的としたプログラムの実施		 
KPI	① 副業・兼業人材とスタートアップ企業等のマッチング件数 （R3目標5→実績3、R4目標10→実績17、R5目標15→実績18） ② 副業・兼業人材等の育成人数 （R3目標15→実績38、R4目標30→実績149、R5目標45→実績75） ③ 大企業等とのネットワーク構築件数 （R3目標5→実績17、R4目標5→実績9、R5目標10→実績13）	関連URL	（川崎市：デジタル田園都市国家構想交付金・実施状況） https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000159184.html

令和5年度川崎型地域中小企業福祉産業創出事業（デジタル田園都市国家構想交付金対象事業）

申請者	神奈川県川崎市				初回採択回	令和3年度																										
事業計画期間	令和3年度～5年度				令和5年度の事業費	21,527千円（交付金10,763千円）																										
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ（横展開型）				事業分野（詳細）	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野																										
目的（効果）	○ 福祉製品等の開発を担う中小・ベンチャー企業の競争力強化による、産業振興及び、介護・福祉事業者における介護人材の不足による課題に貢献する。 ○ 製品の安全性、性能等の基準及び評価手法の構築により、高齢者等の消費者がより安心して福祉製品の利用を可能にする環境構築に貢献する。																															
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R5年度事業費	1 ウェルテックの運営・環境整備 ① 東工大研究員と職員がウェルテックに常駐する体制での施設運営。上層階の福祉施設の他、在宅での福祉製品の検証・データ収集等のための動画撮影環境の整備等 2 ウェルテックを拠点とした企業支援 ① 市内ものづくり中小企業やベンチャー企業等への事業説明・福祉製品等の改良・開発プロジェクトへの参画打診 ② 福祉現場のニーズについて情報提供等を行うため、福祉関係者と企業との福祉製品開発勉強会（2回）の開催 ③ 福祉製品等開発企業からの相談への対応、模擬環境ラボを活用した福祉製品等の評価、改良プロジェクトの実施、伴走支援 センター運営事業費：13,924千円 データ分析・更新等：4,193千円 施設内居室へのカメラ設置等3,410千円 複合福祉施設内に立地し、様々な課題やニーズを収集し、製品開発等に反映 川崎市複合福祉センター「ふくふく」 4F～8F 民間施設 高齢者施設・障害者施設 現場のニーズの提供やモニター評価等を通じた、現場で役に立つ福祉製品開発への協力 2F・3F 川崎市 総合リハビリテーション推進センター等 福祉現場の負担軽減や、介護技術向上に資する開発や福祉現場との連携の協力 1F ウェルテック 現場のニーズを的確に反映し、データに基づく、福祉現場で役立つ福祉製品・サービスの創出支援 同一の建物という立地の強みを生かした連携 東京工業大学・産業技術総合研究所が運営に協力し、製品等を科学的・定量的に評価、伴走支援 川崎市 連携 東京工業大学 + 産総研																															
KPI	<table><tr><th>評価指標</th><th>目標値</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>①事業を通じた改良・新規プロジェクト件数</td><td>4</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>②プロジェクト参画打診件数</td><td>60</td><td>105</td><td>86</td><td>109</td></tr><tr><td>③相談・技術助言件数</td><td>15</td><td>22</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>④製品・サービスの市場化</td><td>3※</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> ※R3の目標値は0					評価指標	目標値	R3	R4	R5	①事業を通じた改良・新規プロジェクト件数	4	6	6	6	②プロジェクト参画打診件数	60	105	86	109	③相談・技術助言件数	15	22	18	18	④製品・サービスの市場化	3※	0	2	1	関連URL	（川崎市：デジタル田園都市国家構想 交付金・実施状況） https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000159184.html
評価指標	目標値	R3	R4	R5																												
①事業を通じた改良・新規プロジェクト件数	4	6	6	6																												
②プロジェクト参画打診件数	60	105	86	109																												
③相談・技術助言件数	15	22	18	18																												
④製品・サービスの市場化	3※	0	2	1																												

令和5年度キングスカイフロントを核としたライフサイエンス分野におけるイノベーション創出事業（デジタル田園都市国家構想交付金対象事業）

申請者	神奈川県川崎市	初回採択回	令和3年度																											
事業計画期間	R3-R5年度	令和5年度の事業費	17,680千円（交付金8,840千円）																											
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	ローカルイノベーション分野																											
目的（効果）	・キングスカイフロントに立地する機関をはじめとするライフサイエンス関連の市内企業、大学及び研究機関等を対象に、研究・事業活動の強みや課題を把握し、ニーズ・シーズマッチングや相談支援を通じて、イノベーション創出に向けた拠点活動の活性化を図るとともに、キングスカイフロントの拠点形成に伴う市内産業への波及を促進する。 ・国の「スタートアップ・エコシステム拠点都市」の選定を踏まえ、ライフサイエンスの研究開発拠点であるキングスカイフロントが、イノベーションのシーズを供給する拠点となり、キングスカイフロント発のイノベーションの成果が広域の産学官金のプレイヤーと結びつき、我が国の成長に資するベンチャー企業の創出につながるエコシステムの形成に向けた取組を行う。																													
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R5年度事業費	①キングスカイフロントをはじめ市内に立地するライフサイエンス関連機関のシーズ・ニーズ等に関する調査業務 ②市域にとどまらない広域でのライフサイエンス分野におけるシーズ・ニーズ調査 ・現地訪問や視察等を通じた意見交換や情報共有、国内外クラスターとの共同イベント等の実施 ③交流・連携、事業化支援等のプロジェクト企画及び実施業務 ・キングスカイフロントと市内企業等との協業・連携をめざしたマッチング ④大田区等との協働による連携イベントの実施 ・多摩川スカイブリッジ開通等を踏まえた連携・交流イベント 委託料17,680千円  川崎市キングスカイフロント・大田区羽田イノベーションシティ交流イベント  Tonomachi outreach communication 北陸先端技術大学院大学（JAIST）シーズ紹介セミナー																													
KPI	<table><tr><th>本事業における重要業績評価資料（KPI）</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>計画</th></tr><tr><td>本事業を通じた産学・産産連携プロジェクト創出数（件）</td><td>3</td><td>7</td><td>9</td><td>8</td></tr><tr><td>本事業を通じたマッチング件数（件）</td><td>21</td><td>46</td><td>57</td><td>32</td></tr><tr><td>ビジネスマッチング交流イベント、ネットワーキングイベント等の参加機関数</td><td>43</td><td>70</td><td>199</td><td>75</td></tr><tr><td>本事業を通じたベンチャー企業創出数</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr></table>			本事業における重要業績評価資料（KPI）	R3	R4	R5	計画	本事業を通じた産学・産産連携プロジェクト創出数（件）	3	7	9	8	本事業を通じたマッチング件数（件）	21	46	57	32	ビジネスマッチング交流イベント、ネットワーキングイベント等の参加機関数	43	70	199	75	本事業を通じたベンチャー企業創出数	0	1	1	2	関連URL	(川崎市：デジタル田園都市国家構想交付金・実施状況) https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000159184.html
本事業における重要業績評価資料（KPI）	R3	R4	R5	計画																										
本事業を通じた産学・産産連携プロジェクト創出数（件）	3	7	9	8																										
本事業を通じたマッチング件数（件）	21	46	57	32																										
ビジネスマッチング交流イベント、ネットワーキングイベント等の参加機関数	43	70	199	75																										
本事業を通じたベンチャー企業創出数	0	1	1	2																										